

# リニア工事の住民通知は前日夜 不誠実 なJR東海へ指導を 衆院国交委 本村議員

もとむら伸子衆院議員は9日の国土交通委員会で、リニアの南アルプストンネル工事について、長野県や静岡県で起きている問題について質しました。

長野県大鹿村では4月27日にトンネル掘削工事が始まりましたが、同村釜沢地区の除山（のぞきやま）非常口は、残土の搬出先が決まらないまま強行されました。

本村氏は大事な工事なのに、県と村に通知されたのは前日夕方、村民には希望者のみ前日夜のメー

ルだったと指摘。「石井啓一国交相が繰り返し答弁してきた『住民への丁寧な説明』に、JR東海は反している」と述べました。これに対し石井大臣は「通知が遅かったとの批判もある」「引き続き指導監督する」と答弁しました。

本村氏は、政府が何度も「指導監督する」と答弁しており、JR東海に対し、いつ、だれが、どんな内容で指導したのかについて、資料の提出を求め、奥田哲也鉄道局長は「検討する」と答えました。

## 有償ガイド 有資格者で質確保 衆院国交委 本村議員

もとむら伸子衆院議員は12日、国土交通委員会で、通訳案内士の資格について質問しました。この日、同委員会で、通訳案内士法と旅行業法の改定案を自民、民進、公明、維新の各党の賛成多数で可決しました。

日本共産党は軽井沢バス事故で問題になったランドオペレーター（旅行サービス手配業者）に登録制を導入する改正には賛成だが、通訳案内士の業務独占の廃止は観光の質の低下を招くとして反対しました。

同改定案は、国家資格をもつ者だけが有償で通訳案内ができる現行規定を廃止し、名称独占のみを残し、これまで違法だった無資格

有償通訳案内ができるようになるものです。

本村氏は韓国では1999年に通訳ガイドの業務独占を廃止し、悪質ガイドが横行したため、09年に、旅行者に有資格者の添乗を義務付けるように見直した事例を紹介し、日本も有償通訳ガイドは有資格に限るべきだと主張しました。石井啓一国交相は「総合的措置で対応していく」と答弁しました。

また本村氏は、無資格ガイドが沖縄県の魅力や歴史をガイドせず、爆買い向けの店ばかり連れまわした結果、「二度と沖縄に行きたくない」という声が海外旅行者から出された事例を紹介しました。

田村明比古観光庁長官は、無資格有償ガイドにも研修を受けさせると答弁しましたが、国が把握も登録もさせないのに、どうやって研修を受けてもらうのかと批判しました。

さらに本村氏は、通訳案内士の半分以上が年収200万円以下で、無資格有償通訳ガイドの合法化はさらなる処遇低下につながる」と指摘しました。

### 地域の病院を守れ！ 岐阜県中津川市、長野県南木曾町の住民が政府に要請 11日



岐阜県中津川市が、坂下病院の一般病床を廃止する問題で11日、同市と利用者の多い近隣の長野県南木曾町の住民らが厚生労働省と総務省に要請を行い、もとむら伸子、島津幸広両衆院議員も同席しました。中津川市の医療をよくする会、南木曾町の医療を守る会、木下律子中津川市議と坂本満南木曾町議らが参加し、高橋ちづ子議員秘書、藤野保史議員秘書も同席しました。

要請書は、「一般病床を持った病院として存続できるよう、国の制度として地域病院における医師の持続的な確保の早急な対応を」と求めています。

参加者は、「いまは20分で行けるが、なくなれば1時間以上かかり、命に関わる問題だ。」「診療報酬削減など国の政策が医師確保を難しくしている。地域の病院を守らないと、地方は壊死（えし）してしまう」などと訴えました。

東海96万票、比例3議席の実現で野党連合政権の大きな流れを

●演説会●  
◆愛知県 5月20日（土）  
14:30 名古屋駅西 志位和夫委員長  
◆岐阜県 5月21日（日）  
14:00 岐阜市文化センター 笠井亮政策委員長  
◆静岡県 5月27日（土）  
18:00 浜松駅前 笠井亮政策委員長  
\* 比例候補も参加